

第70期中間期 **株主通信**  
〈2024年4月1日～2024年9月30日〉

INDEX

- P01 Top Message
- P03 業績ハイライト
- P05 トピックス
- P07 会社の概況
- P08 連結財務諸表
- P09 株式の状況
- P10 株主アンケート集計結果のご報告  
株主優待制度のご案内



C L E A N  
&  
H E A L T H Y

## Top Message

# 現中期経営計画の施策を着実に進めるとともに、 次の10年を見据えた新たな成長ストーリーを 描いてまいります

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

### 上半期を振り返って

当中間連結会計期間においては、国内経済が緩やかな回復基調で推移する一方、コスト上昇や物価上昇懸念などのさまざまなリスクが残り、経営環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。このような環境のもと、当社グループは、今期最終年度を迎える中期経営計画「Challenge for the new stage!」に掲げる各種施策を推進することで、より一層の事業成長を図るとともに、生産性向上やお客様への適正価格でのサービス提供などにより、最大限の収益確保と従業員一人当たりの付加価値向上に引き続き取り組んでおります。

2024年7月には、リハビリデイサービスやドラッグストアなどを展開する株式会社 mik japan の全株式を当社連結子会社であるたんぼ薬局が取得し、連結対象としております。当社グループの介護用品レンタル事業および調剤薬局事業の経営資源を相互活用することにより、トカイグループとしての一層の企業価値向上につなげてまいります。

また、成長をけん引する介護用品レンタル事業において、8月に当社グループとして初めて九州エリアに介護用品メンテナンスセンターを開設しました。今後も積極的な投資を通じて、さらなるサービス品質の向上とシェア拡大に取り組んでまいります。

### 次期中期経営計画の策定に向けて

一方で、さらなる収益性向上や資本効率を意識した経営を実現していくためには、長期目線で当社グループの成長を描くことが重要と考えております。そうした今後の経営戦略の方向性を示すため、11月下旬に実施した中間決算説明会において、次期中期経営計画の骨子を発表いたしました。次期中期経営計画期間となる今後3年間で、10年先を見据えたありたい姿を達成するための最初のフェーズとして、「収益性向上と新たな価値創出に向けた種まき」の期間と位置づけています。

引き続き、次期中期経営計画の具体的な経営目標の検討および各事業戦略の策定を進め、2025年5月には株主の皆様の期待に応えられる成長ストーリーをお示ししたいと考えております。

### 株主還元について

最後に、株主の皆様への還元につきましては、当社配当方針に則り、2025年3月期の中間配当は従来予想通り1株当たり29円とさせていただきます。また、2024年5月には、資本効率の向上を図るとともに、機動的な資本政策および株主還元策の一環として140万株(約29億円)の自己株式取得を実施いたしました。これにより、当期の総還元性向は90%弱となる見込みです。

株主の皆様におかれましては、引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

浅井利明



## 上半期の業績について

当中間連結会計期間においては、連結売上高は4期連続の増収となり、過去最高を更新した一方、各種費用の増加などにより、営業利益は前年同期をわずかに下回りました。

健康生活サービスは、シルバー事業の介護用品レンタルが順調に推移したことに加え、リハビリデイサービス事業を行うmik japanの連結加入が売上増加に貢献しました。また、病院関連事業の戦略商品である「入院・入居セット」の売上が好調に推移したほか、寝具・リネンサプライ事業、クリーニング設備製造事業の売上伸長により、当セグメントは増収となりました。利益面につきましては、前年10月より稼働した埼玉工場に係る減価償却費の増加等はあるものの、増収効果に加えてレンタル資材投下の一部が下期にずれたことや工場立ち上げ時の一時費用がなくなったこと、さらには生産性向上およびサービス提供価格の適正化への取り組みにより増益となりました。

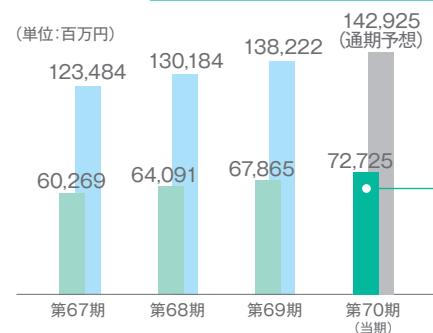
調剤サービスは、新店効果による処方箋枚数の増加および処方箋単価の上昇に加え、ドラッグストア事業などを展開するmik japanの連結加入により増収となりました。利益面につきましては、かかりつけ機能の強化等による技術料売上の増加に伴う利益増の一方、薬価改定や医薬品の供給ひっ迫などを背景とした原価上昇、診療報酬改定をきっかけに給与体系を見直したことによる労務費・人件費の増加等により減益となりました。

環境サービスは、病院清掃売上が順調に推移したことでビル清掃管理事業が増収となった一方、リースキン事業における加盟店向け商品販売の減少等により、当セグメントは減収となりました。利益面につきましては、適正価格でのサービス提供、ビル清掃管理事業における工程改善等収益性向上に取り組んだものの、連結子会社におけるリースキン工場建て替えに伴う減価償却費の増加等により減益となりました。

### 売上高

前年同期比 **7.2%増**

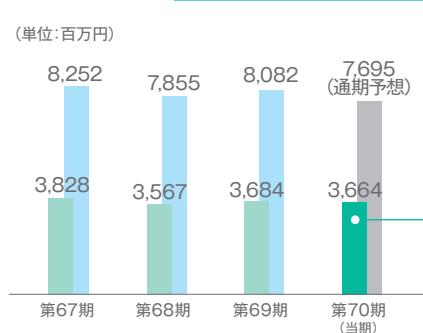
727億25百万円



### 営業利益

前年同期比 **0.6%減**

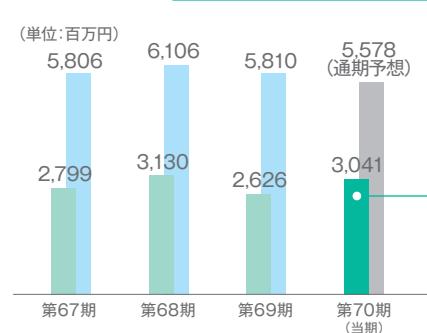
36億64百万円



### 親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益

前年同期比 **15.8%増**

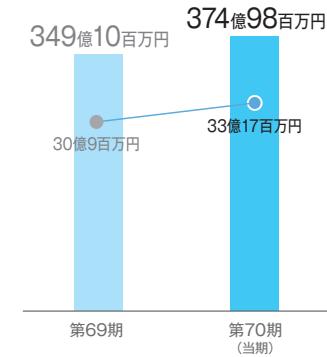
30億41百万円



## 健康生活サービス

### <主な事業>

- ・病院関連事業
- ・給食事業
- ・シルバー事業
- ・寝具・リネンサプライ事業
- ・クリーニング設備製造事業
- ・アクアクララ事業



売上構成比

51.6%

売上高  
前年同期比

**7.4%増**

[前年同期比25億87百万円増]

営業利益  
前年同期比

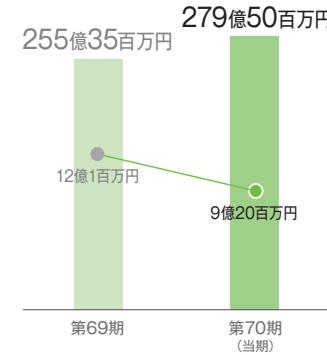
**10.2%増**

[前年同期比3億8百万円増]

## 調剤サービス

### <主な事業>

- ・調剤薬局事業  
(たんぽぽ薬局158店舗  
※2024年9月末時点)
- ・ドラッグストア関連事業



売上構成比

37.8%

売上高  
前年同期比

**9.5%増**

[前年同期比24億15百万円増]

営業利益  
前年同期比

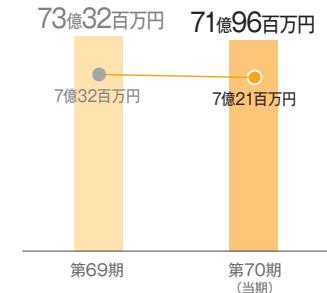
**23.4%減**

[前年同期比2億81百万円減]

## 環境サービス

### <主な事業>

- ・リースキン事業
- ・ビル清掃管理事業
- ・太陽光事業



売上構成比

10.4%

売上高  
前年同期比

**1.9%減**

[前年同期比1億35百万円減]

営業利益  
前年同期比

**1.6%減**

[前年同期比11百万円減]

## 株式会社mik japanをグループ化

7月1日、たんぽぽ薬局は株式会社mik japanの全株式を取得しました。大阪市に本社を置く同社は、関西エリアを中心にドラッグストアや調剤薬局、リハビリ特化型デイサービス、EC事業など、地域に密着した幅広い事業を展開しています。

当社グループのコア事業である介護用品レンタル事業にリハビリデイサービス事業が加わったことで、ご利用者のQOL改善や機能回復の一助となり得る複合的なサービスの提供が可能となりました。また、ドラッグストア関連事業を通じた、たんぽぽ薬局店舗における物販機能の強化も推進していきます。

### 主要な事業内容

#### ドラッグストア



#### ドラッグミック

「ココロから笑顔になるサービスの提供」をモットーに、地域の皆様の健康をサポートするドラッグストア「ドラッグミック」を関西エリアで展開。

#### リハビリ特化型デイサービス



#### ミック健康の森

【動く・話す・笑う】をコンセプトに「いつまでも自分でできる」をサポートするリハビリ特化型デイサービス「ミック健康の森」を全国で展開。

## たんぽぽ薬局「DHAチョコレート」を発売

たんぽぽ薬局のプライベートブランド商品として初となる機能性表示食品「DHAチョコレート」を5月27日に発売しました。アルファベットチョコレートを製造販売する名糖産業株式会社と共同開発した、加齢に伴って低下する記憶力をサポートする機能があるとされるDHAを配合したチョコレートです。青魚ではなく、藻類由来のDHAを使用することで独特な魚臭さを軽減させています。カカオ分を72%含むビターな味わいもポイントです。たんぽぽ薬局全店舗およびmik japanのドラッグストアやECサイトにて販売しています。



## 九州メンテナンスセンターが稼働開始

佐賀県鳥栖市に、介護用品メンテナンスセンターの機能を有する九州メンテナンスセンターを新設し、8月から稼働開始しました。これまで九州の営業所に対しては四国メンテナンスセンターから商品の供給を行っていましたが、九州メンテナンスセンターの開設により、商品の供給スピード向上および供給頻度を増やすことで競争力向上を図り、九州エリアにおけるシェア拡大を目指します。

当センターは、今後増加していく物量に対応できるよう、生産性向上に寄与する最新設備を多数導入しています。また、屋根上の太陽光発電を自家活用しており、環境に配慮したセンターとなっています。



九州メンテナンスセンター外観



九州エリアの営業拠点(11月1日時点)  
(●当社 ●グループ会社)

## リースキン新商品情報

### 冷蔵庫用脱臭剤



冷蔵庫内の気になる臭いを脱臭します。化学物質不使用でコンパクトな点が特長です。また、製品本体が紙製のためプラスチックごみの削減に貢献し、そのまま燃えるゴミとして廃棄できます。(有効期間約3か月)

### RACOCO ホワイトムスク



人気商品アロマディフューザー RACOCOに新香料「ホワイトムスク」が登場。甘いフローラルとムスクの温かみが調和した柔らかく上品な香りが、心地いい空間を演出します。また、RACOCOとしては初めて消臭成分を配合し、お部屋の気になる臭いを消臭します。

## 会社の概況 (2024年9月30日現在)

### 会社の概況

会社の設立	1955年7月21日
資本金	8,108百万円
本社	岐阜県岐阜市若宮町九丁目16番地
羽島本部	岐阜県羽島市正木町須賀赤松2627番地
事業所数	74拠点
工場数	11工場
従業員数	4,544名(連結)

(注) 従業員数に臨時従業員は含めておりません。

### 取締役 (監査等委員である取締役を除く。)

代表取締役会長	小野木 孝二
代表取締役社長	浅井 利明
取締役	松野 英子
取締役	浅野 智義
取締役	小里 孝
取締役	川島 健資
取締役	後藤 智子

(注) 取締役小里孝氏、川島健資氏および後藤智子氏は、社外取締役であります。

### 監査等委員である取締役

取締役	村木 利光
取締役	川添 衆
取締役	宇野 裕

(注) 取締役川添衆氏および宇野裕氏は、社外取締役であります。

### 重要な子会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	議決権の 所有割合(%)	主要な事業内容
(株) トーカイ (四国)	56	100.0	病院関連事業および 寝具・リネンサプライ事業
(株) プレックス	20	100.0 (100.0)	クリーニング設備の製造 および販売
(株) 同仁社	200	91.1	病院関連事業、寝具・リネン サプライ事業、シルバー事業 およびリースキン事業
ゆうえる (株)	14	100.0	シルバー事業
トーカイフーズ (株)	12	100.0	病院給食事業
(株) サン・シング東海	100	51.0	布団製造
たんぼぼ薬局 (株)	693	100.0	調剤薬局事業
(株) mik japan	10	100.0 (100.0)	ドラッグストア事業、 リハビリ特化型デイサービス事業
(株) ティ・アシスト	10	100.0	ビル清掃管理事業
(株) ビルメン	30	100.0 (100.0)	ビル清掃管理事業
(株) リースキンサポート	30	100.0	マット・モップ等の配送 および交換
(株) サカタ	50	100.0	モップの製造
九州メガソーラー (株)	67	100.0	太陽光を活用した 売電事業
(株) 日本情報マート	30	99.7	中堅中小企業向け 経営コンテンツ提供事業

(注) 議決権の所有割合は間接保有分を含めており、( )内は、内書で間接保有分であります。

## 連結財務諸表 (2024年9月30日現在)

### 連結貸借対照表 (要約) (単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間 連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	59,601	<b>56,479</b>
固定資産	55,324	<b>55,926</b>
有形固定資産	37,328	<b>37,389</b>
無形固定資産	1,490	<b>2,355</b>
投資その他の資産	16,505	<b>16,181</b>
資産合計	114,926	<b>112,406</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	22,818	<b>22,425</b>
固定負債	5,318	<b>4,925</b>
負債合計	28,137	<b>27,350</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	83,379	<b>82,383</b>
資本金	8,108	<b>8,108</b>
資本剰余金	4,920	<b>4,922</b>
利益剰余金	72,287	<b>74,167</b>
自己株式	△1,936	<b>△4,813</b>
その他の包括利益累計額	2,803	<b>2,042</b>
その他有価証券評価差額金	2,813	<b>2,049</b>
退職給付に係る調整累計額	△9	<b>△6</b>
非支配株主持分	605	<b>629</b>
純資産合計	86,789	<b>85,055</b>
負債純資産合計	114,926	<b>112,406</b>

### 連結損益計算書 (要約) (単位:百万円)

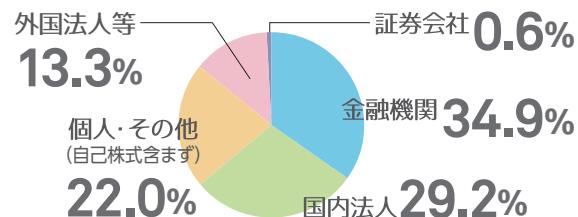
	前中間 連結会計期間 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	当中間 連結会計期間 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)
売上高	67,865	<b>72,725</b>
売上原価	51,401	<b>55,735</b>
売上総利益	16,463	<b>16,990</b>
販売費および一般管理費	12,778	<b>13,326</b>
営業利益	3,684	<b>3,664</b>
営業外収益	262	<b>307</b>
営業外費用	77	<b>53</b>
経常利益	3,869	<b>3,917</b>
特別利益	—	<b>770</b>
特別損失	40	<b>312</b>
税金等調整前 中間純利益	3,829	<b>4,375</b>
法人税等	1,180	<b>1,308</b>
中間純利益	2,649	<b>3,067</b>
非支配株主に帰属する 中間純利益	22	<b>25</b>
親会社株主に帰属する 中間純利益	2,626	<b>3,041</b>

## 株式の状況 (2024年9月30日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	普通株式 114,000,000株
発行済株式の総数	普通株式 33,820,034株 (自己株式 2,221,312株を除く。)
株主数	4,294名 (自己株名義含)

### 所有者別状況



(注)構成比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

### 大株主 (上位10名)

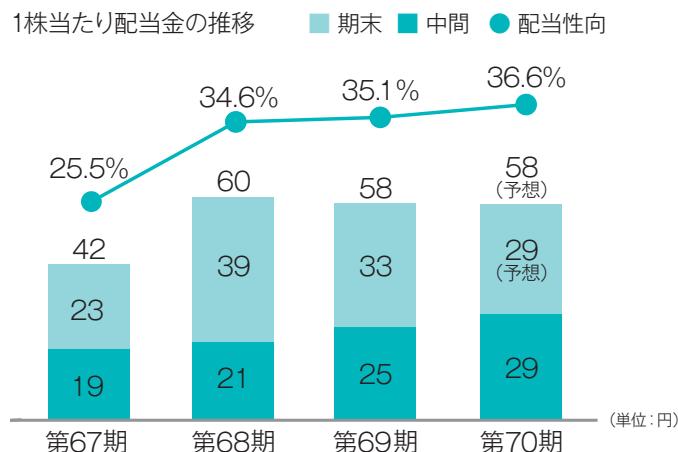
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
(株) 小野木興産	5,640	16.67
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	2,925	8.64
(株) トーカイ	2,221	—
トーカイ共友会	1,463	4.32
(株) 大垣共立銀行	1,420	4.19
(株) 十六銀行	1,410	4.17
岐阜信用金庫	1,344	3.97
(株) 三菱UFJ銀行	1,339	3.96
小野木 孝二	1,130	3.34
トーカイ従業員持株会	955	2.82

(注)持株比率は、自己株式(2,221,312株)を控除して計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

### 配当政策

当社は、企業価値の向上および株主価値の最大化を図るべく、事業拡大のための必要な投資資金としての内部留保を確保すると同時に、利益配分につきましては、安定的かつ業績に応じた配当を継続することおよび配当性向35%を目安として配当金額を決定することを配当政策の基本方針としております。

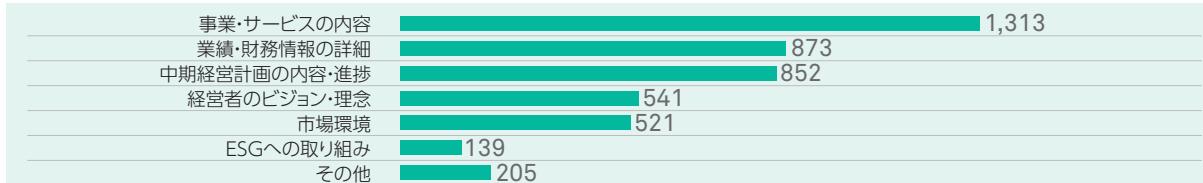
また、当社は中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うこととしております。



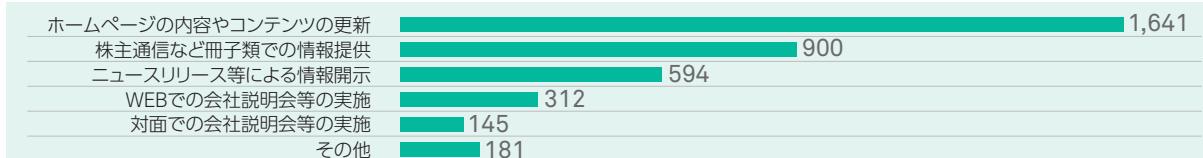
## 株主アンケート集計結果のご報告

本年の株主優待お申し込みと併せて実施いたしました「株主アンケート」につきまして、計3,474名の株主様よりご回答をいただきました。その集計結果の一部をここにご紹介いたします。

### Q 当社に関して、もっと知りたいと思われる情報をお教えてください。(複数回答可)



### Q 当社のIR情報の発信方法として、今後、充実を期待するものをお教えてください。(複数回答可)



## 株主優待制度のご案内

毎年3月31日現在、株主名簿に記載された株主様に対し、その時点における保有株式数および保有期間に応じて、以下の基準のとおり株主優待品を贈呈いたします。

	保有期間1年未満の株主様	保有期間1年以上の株主様
100株以上 1,000株未満	トーカイオリジナルカレー 3人前	トーカイオリジナルカレー 3人前 <b>もしくは</b> 岐阜県の名産品 (1,000円相当) の中から一品選択
1,000株以上 10,000株未満	トーカイオリジナルカレー 9人前	トーカイオリジナルカレー 9人前 <b>もしくは</b> 岐阜県の名産品 (3,000円相当) の中から一品選択
10,000株以上	トーカイオリジナルカレー 15人前	トーカイオリジナルカレー 15人前 <b>もしくは</b> 岐阜県の名産品 (5,000円相当) の中から一品選択

優待品の贈呈に代えて、社会貢献活動への寄付を選択することができます。

2024年  
株主優待における寄付のご報告

ご寄付の総額 **136,000円**

2024年当社株主優待において、計66名の株主様より、社会貢献活動への寄付のお申し込みをいただきました。皆様からお預かりした総額136,000円は、日本赤十字社を通じて「令和6年能登半島地震災害義援金」として寄付いたしましたことを、ここにご報告申し上げます。皆様のご協力に、心より御礼申し上げます。

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当／毎年3月31日 中間配当／毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〈電話〉 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く) <a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
一単元の株式の数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告方法	電子公告によります。 ただし、電子公告によることができない やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。  電子公告のホームページアドレス <a href="https://www.tokai-corp.com/finance/">https://www.tokai-corp.com/finance/</a>

各種株式事務のお問い合わせについては、  
以下当社ウェブサイトをご確認ください。  
<https://www.tokai-corp.com/finance/stocks/info/>